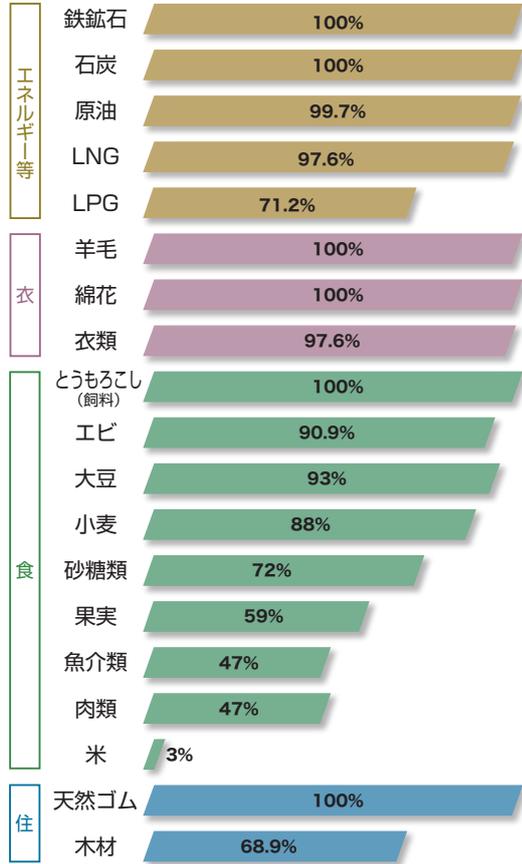


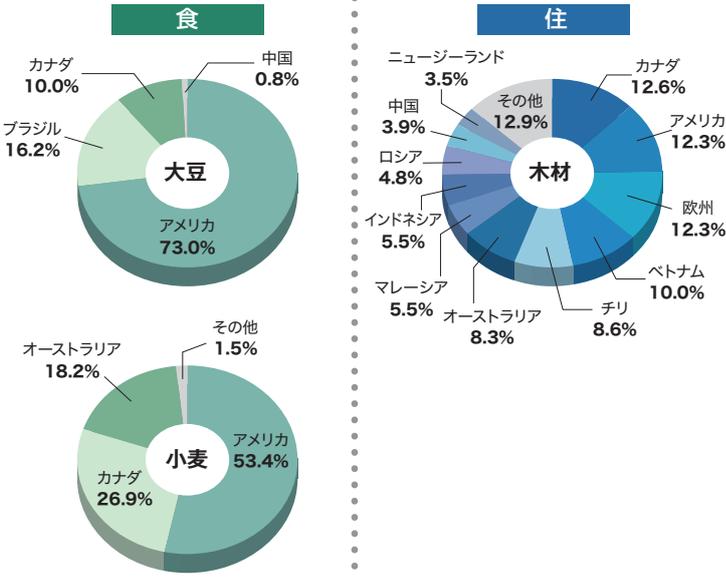
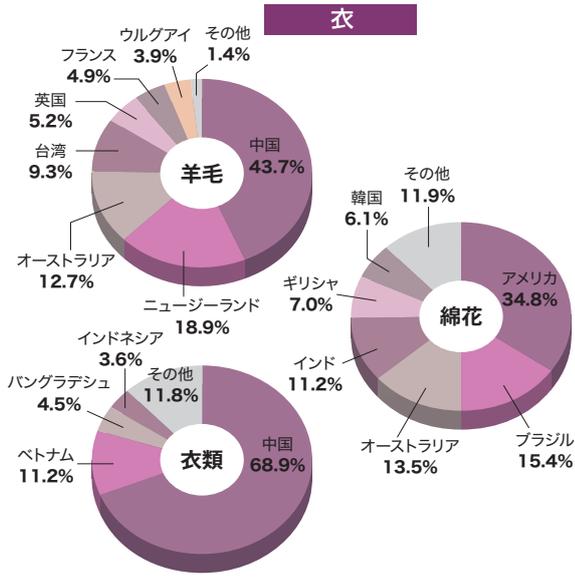
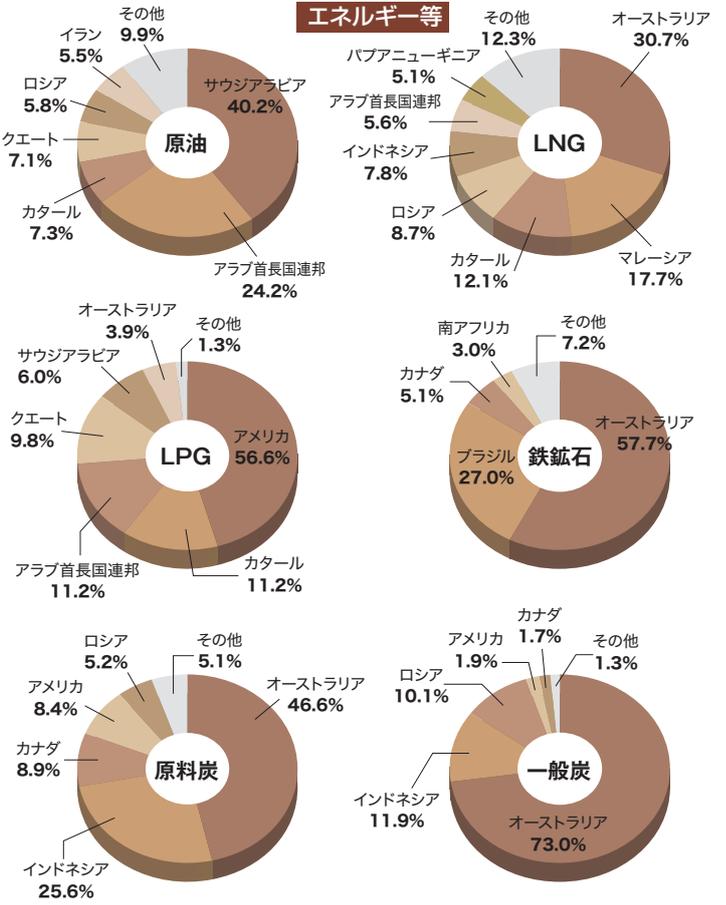
1 主な資源の対外依存度

わが国は衣食住の面で欠くことのできない多くの資源を輸入に頼っている。エネルギー資源である原油は中東諸国から(8割以上)、石炭はオーストラリアから(約7割)、LNGはオーストラリア、マレーシア、カタールからの輸入が多い。工業原料である鉄鉱石、原料炭はオーストラリアからの輸入が多い。

主な物資の対外依存度



主な物資の輸入先

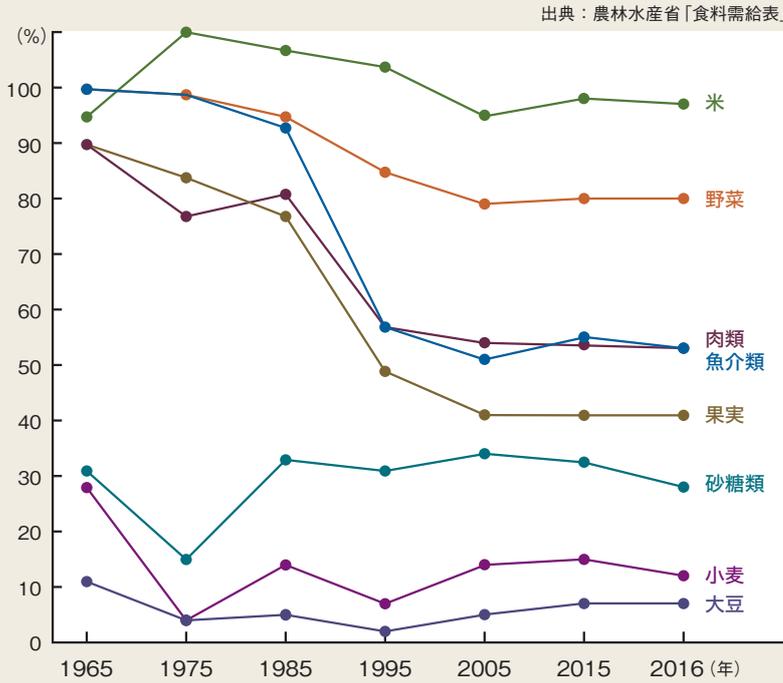


出典：平成28年度「食料需給表」、平成28年「木材需給表」、  
 「エネルギー白書2018」、「鉄鋼統計要覧」2017年版、  
 帝国書院HP統計資料、「日本のアパレル市場と輸入品概況2018」  
 (以上、対外依存度)  
 財務省貿易統計、「森林・林業白書」平成29年版(以上、輸入先)

(注) ①とうもろこし(飼料)・エビ・大豆・小麦・砂糖類・果実・魚介類・肉類・米・天然ゴム・  
 木材については2016年度の数値(概算)。  
 ②原油・LNG・LPGは2016年度、鉄鉱石・石炭は2015年度、羊毛・綿花2014年の数値。  
 ③衣類は2017年の輸入浸透率。  
 ④輸入先について、木材は2016年のデータ。他は2017年のデータ。

## 2 食料自給率の推移

米を始めとする主食用穀物を除き、食料自給率は1960年代より減少傾向だったが、近年では横ばいである。



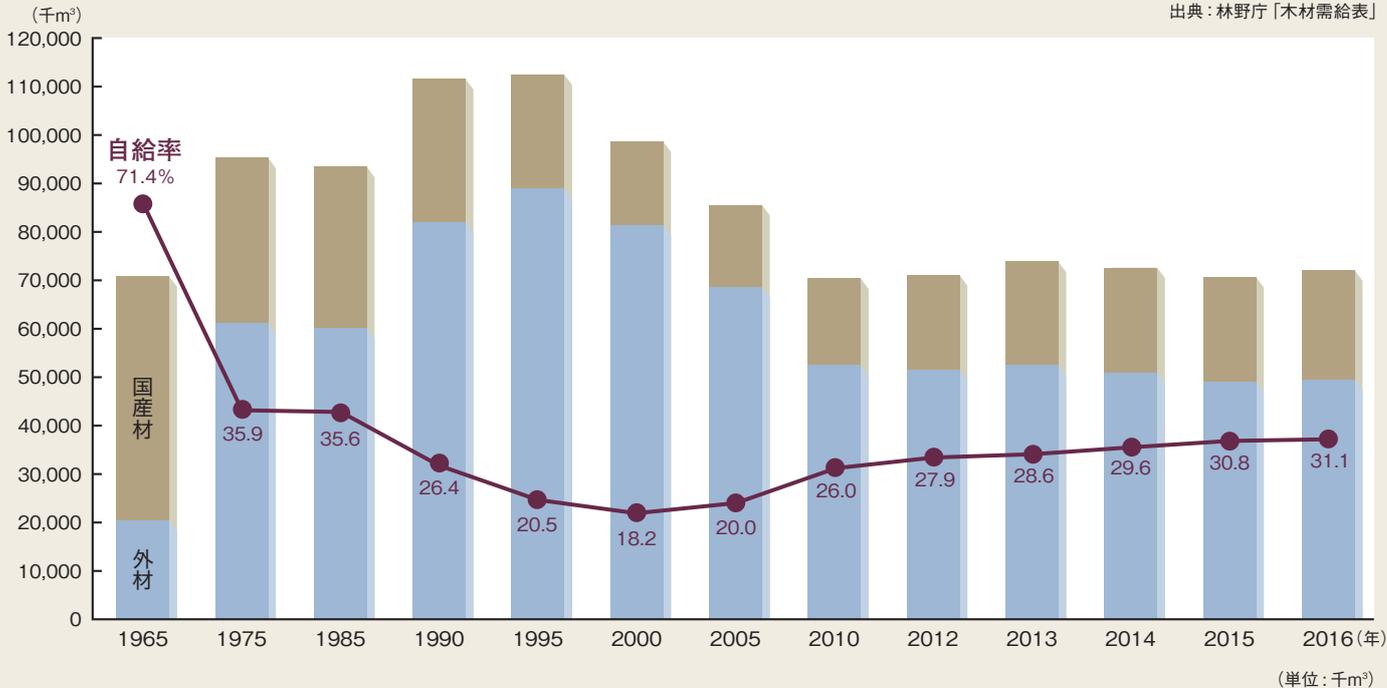
(単位：%)

年度	1965	1975	1985	1995	2005	2015	2016
米	95	110	107	104	95	98	97
小麦	28	4	14	7	14	15	12
大豆	11	4	5	2	5	7	7
野菜	100	99	95	85	79	80	80
果実	90	84	77	49	41	41	41
肉類	90	77	81	57	54	54	53
魚介類	100	99	93	57	51	55	53
砂糖類	31	15	33	31	34	33	28

(注)2016年数値は概算値。

## 3 国産材・外材別の木材需要(供給)量(丸太換算)

木材自給率は、1965年には71.4%であったが、1975年までに大きく減少し、2000年には18.2%にまで落ち込んだ。2000年以降は緩やかに増加し、2016年には31.1%となった。



(単位：千m<sup>3</sup>)

年	1965	1975	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2012	2013	2014	2015	2016
合計	70,530	96,369	92,901	111,162	111,922	99,263	85,857	70,253	70,633	73,867	72,547	70,883	71,941
国産材	50,375	34,577	33,074	29,369	22,916	18,022	17,176	18,236	19,686	21,117	21,492	21,797	22,355
外材	20,155	61,792	59,827	81,793	89,006	81,241	68,681	52,018	50,947	52,750	51,054	49,086	49,586
自給率(%)	71.4	35.9	35.6	26.4	20.5	18.2	20.0	26.0	27.9	28.6	29.6	30.8	31.1

(注)端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。